



2020年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月15日

上場会社名 日本フィルコン株式会社

上場取引所 東

コード番号 5942 URL <https://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名倉 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理・経営企画管掌 兼 管理本部長 兼 経営企画室長 (氏名) 齋藤 芳治

TEL 042-377-5711

四半期報告書提出予定日 2020年7月15日

配当支払開始予定日

2020年8月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|--------|------|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年11月期第2四半期 | 10,921 | 13.1 | 149 | 66.8 | 318 | 17.3 | 207 | 5.2 |
| 2019年11月期第2四半期 | 12,564 | 5.7 | 450 | 18.6 | 385 | 29.7 | 197 | 42.2 |

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 399百万円 (%) 2019年11月期第2四半期 236百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|----------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年11月期第2四半期 | 9.60 | |
| 2019年11月期第2四半期 | 9.09 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年11月期第2四半期 | 37,246 | 19,778 | 52.5 |
| 2019年11月期 | 37,814 | 20,278 | 53.0 |

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 19,535百万円 2019年11月期 20,032百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年11月期 | | 6.00 | | 6.00 | 12.00 |
| 2020年11月期 | | 6.00 | | | |
| 2020年11月期(予想) | | | | 6.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による当社業績への影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定とし、記載しておりません。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----|---|------|---|------|---|-----------------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | | | | | | | | | |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年11月期2Q | 22,167,211 株 | 2019年11月期 | 22,167,211 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年11月期2Q | 534,228 株 | 2019年11月期 | 602,478 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年11月期2Q | 21,596,062 株 | 2019年11月期2Q | 21,675,265 株 |

期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式(2019年11月期4,900株)を含めております。また、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (会計方針の変更) | 10 |
| (追加情報) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気の急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況です。海外経済も、新型コロナウイルス感染症がパンデミックの状態にあるため、経済活動が大きく制約されており、景気が落ち込んでいる状況です。

このような状況のなか、当社グループの経済活動も大きく落ち込み、受注が減少しております。当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は10,921百万円（前年同期比13.1%減）となりました。営業利益は売上高の減少により149百万円（前年同期比66.8%減）となりました。経常利益は318百万円（前年同期比17.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の減少により207百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

産業用機能フィルター・コンベア事業は以下の事業で構成されます。

| | |
|--------------------|--------------------------------|
| 製紙製品分野 | 紙を抄くために使われる網(ワイヤー)の製造・販売 |
| その他産業用フィルター・コンベア分野 | 「ふるい分け」、「ろ過」、「搬送」用の工業用金網の製造・販売 |

製紙製品分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内では紙の需要が減少しており、海外では販売活動が制約されております。そのため、売上高は国内海外ともに前年同期と比べ減少いたしました。

その他産業用フィルター・コンベア分野では、引き続き食品業界向けを中心にコンベアベルトの販売が減少したことや、オーストラリアにおける防蟻等住宅関連事業が新型コロナウイルス感染症の影響により販売活動に制約を受けたため、売上高は前年同期と比べ減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は7,943百万円（前年同期比12.2%減）、営業利益は456百万円（前年同期比39.8%減）となりました。

②電子部材・フォトマスク事業

電子部材・フォトマスク事業は以下の事業で構成されます。

| | |
|-------------|---|
| エッチング加工製品分野 | 金属材料・複合フィルム材料をエッチング加工した製品の製造・販売 |
| フォトマスク製品分野 | 半導体、ディスプレイ、プリント基板、MEMSなどを製造するときに使用されるツールで、パターンニングの原版となるフォトマスクの製造・販売 |

エッチング加工製品分野では、売上高は前年同期比並みとなりました。

フォトマスク製品分野では、電子部品業界全体の低調が続いており、前年同期と比べ売上高は減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は1,742百万円（前年同期比15.5%減）、営業損失は、エッチング加工製品分野の基礎技術に関する特許権者へのライセンス料を費用計上したものの、前期末に実施した減損損失の計上により減価償却費が大きく減少し、7百万円（前年同期営業損失56百万円）となりました。

③環境・水処理関連事業

環境・水処理関連事業は、プール、ろ過装置の設計・販売や防波堤に用いられる消波ブロック向け高比重コンクリート(Gコン)、天然ガスパイプラインの腐食・ガス漏れを防ぐ絶縁継手の販売などを行っております。

建設業界では新型コロナウイルス感染症の影響により工事が一時中断し、工期が延びる動きが見られました。当社グループも例外ではなく、完成引き渡しに5月に間に合わなかったプールの大型案件がありました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は708百万円（前年同期比24.0%減）、営業損失は58百万円（前年同期営業利益40百万円）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、当社が保有する不動産を店舗、マンション、駐車場等として賃貸しております。

既存の賃貸物件が順調に稼働した結果、当セグメントの外部顧客への売上高は527百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は400百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

（注）各セグメントの営業利益の合計額と連結業績における営業利益との差異640百万円（前年同期比6.7%減）は、主として各セグメントに配分していない全社費用であります。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態の分析

流動資産は、前連結会計年度末に比べ160百万円増加し、17,642百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が789百万円減少した一方で、現金及び預金が304百万円、仕掛品が455百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ728百万円減少し、19,603百万円となりました。これは主として、機械装置及び運搬具が649百万円増加した一方で、建物及び構築物が102百万円、有形固定資産のその他に含まれております建設仮勘定が811百万円、投資有価証券が392百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ568百万円減少し、37,246百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ257百万円減少し、11,794百万円となりました。これは主として、その他が384百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が847百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ188百万円増加し、5,672百万円となりました。これは主として、長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ68百万円減少し、17,467百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ500百万円減少し、19,778百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が250百万円、為替換算調整勘定が323百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ381百万円増加し、3,881百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益286百万円、減価償却費571百万円、売上債権の減少額725百万円などにより、1,308百万円の収入(前第2四半期連結累計期間に比べ750百万円の収入増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出489百万円などにより、437百万円の支出(前第2四半期連結累計期間に比べ673百万円の支出減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入600百万円などがありましたが、長期借入金の返済による支出1,146百万円などにより、439百万円の支出(前第2四半期連結累計期間に比べ1,249百万円の支出増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、国内外の取引先の今後の動向を把握することや、当社グループの国内外の販売活動が制約されているなかで、その解除の時期を見通すことは困難です。このような状況において、通期連結業績予想を合理的に算出することは困難となっております。

そのため、2020年11月期通期連結業績予想につきましては、本日公表の「2020年11月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、未定といたします。今後、合理的な算定が可能となった時点で改めてお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,653,390 | 3,957,908 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,675,702 | 6,886,304 |
| 商品及び製品 | 3,221,099 | 3,297,662 |
| 仕掛品 | 995,124 | 1,451,071 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,385,142 | 1,347,886 |
| その他 | 590,162 | 733,727 |
| 貸倒引当金 | △38,693 | △31,962 |
| 流動資産合計 | 17,481,927 | 17,642,597 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,662,887 | 5,560,305 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,861,990 | 2,510,996 |
| 土地 | 4,318,812 | 4,282,959 |
| その他(純額) | 1,169,182 | 396,930 |
| 有形固定資産合計 | 13,012,872 | 12,751,192 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 353,531 | 308,474 |
| その他 | 282,521 | 271,149 |
| 無形固定資産合計 | 636,053 | 579,624 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,741,896 | 3,349,493 |
| リース投資資産 | 465,734 | 455,268 |
| その他 | 2,481,961 | 2,473,984 |
| 貸倒引当金 | △6,062 | △6,062 |
| 投資その他の資産合計 | 6,683,530 | 6,272,683 |
| 固定資産合計 | 20,332,456 | 19,603,500 |
| 資産合計 | 37,814,384 | 37,246,097 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,328,706 | 3,323,790 |
| 短期借入金 | 5,175,941 | 5,415,034 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,500,275 | 653,088 |
| 未払法人税等 | 75,755 | 63,329 |
| 賞与引当金 | 78,054 | 62,147 |
| その他 | 1,893,110 | 2,277,285 |
| 流動負債合計 | 12,051,843 | 11,794,676 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,272,295 | 3,558,986 |
| 退職給付に係る負債 | 232,442 | 251,849 |
| 環境対策引当金 | 106,280 | 106,280 |
| 長期預り敷金保証金 | 1,123,282 | 1,098,387 |
| 資産除去債務 | 83,847 | 83,868 |
| その他 | 665,745 | 573,444 |
| 固定負債合計 | 5,483,894 | 5,672,817 |
| 負債合計 | 17,535,737 | 17,467,494 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,685,582 | 2,685,582 |
| 資本剰余金 | 1,912,403 | 1,912,403 |
| 利益剰余金 | 14,444,179 | 14,519,683 |
| 自己株式 | △323,217 | △286,384 |
| 株主資本合計 | 18,718,948 | 18,831,284 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 689,362 | 439,071 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1,112 | — |
| 為替換算調整勘定 | 256,498 | △66,902 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 369,065 | 332,197 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,313,813 | 704,365 |
| 非支配株主持分 | 245,884 | 242,952 |
| 純資産合計 | 20,278,646 | 19,778,603 |
| 負債純資産合計 | 37,814,384 | 37,246,097 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 12,564,593 | 10,921,517 |
| 売上原価 | 8,195,200 | 7,100,834 |
| 売上総利益 | 4,369,393 | 3,820,683 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,918,418 | 3,670,750 |
| 営業利益 | 450,975 | 149,933 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,963 | 4,192 |
| 受取配当金 | 13,336 | 14,864 |
| 持分法による投資利益 | 61,617 | 108,353 |
| その他 | 57,293 | 137,998 |
| 営業外収益合計 | 136,211 | 265,408 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 40,183 | 42,267 |
| その他 | 161,740 | 54,377 |
| 営業外費用合計 | 201,923 | 96,644 |
| 経常利益 | 385,263 | 318,697 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 38,518 | 32,144 |
| 特別損失合計 | 38,518 | 32,144 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 346,745 | 286,552 |
| 法人税等 | 139,300 | 78,320 |
| 四半期純利益 | 207,444 | 208,231 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 10,420 | 900 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 197,023 | 207,330 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 207,444 | 208,231 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △337,942 | △250,291 |
| 繰延ヘッジ損益 | △846 | 1,112 |
| 為替換算調整勘定 | △36,537 | △343,663 |
| 退職給付に係る調整額 | △23,807 | △36,868 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △44,786 | 22,428 |
| その他の包括利益合計 | △443,920 | △607,281 |
| 四半期包括利益 | △236,476 | △399,050 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △247,015 | △402,117 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 10,539 | 3,066 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 346,745 | 286,552 |
| 減価償却費 | 746,174 | 571,246 |
| のれん償却額 | 33,718 | 31,563 |
| 減損損失 | 38,518 | 32,144 |
| 株式報酬費用 | 5,333 | 13,977 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 23,821 | 24,906 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △1,804 | △4,735 |
| 受取利息及び受取配当金 | △17,300 | △19,056 |
| 支払利息 | 40,183 | 42,267 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △61,617 | △108,353 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 595,551 | 725,243 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △231,783 | △589,530 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | △140,088 | △136,138 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △169,656 | 50,719 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △131,119 | 105,482 |
| その他 | △192,239 | 292,256 |
| 小計 | 884,436 | 1,318,545 |
| 利息及び配当金の受取額 | 17,494 | 19,067 |
| 利息の支払額 | △40,510 | △39,894 |
| 法人税等の支払額 | △303,466 | △94,185 |
| 法人税等の還付額 | — | 104,807 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 557,954 | 1,308,340 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,034,330 | △489,340 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △20,520 | △25,572 |
| 保険積立金の解約による収入 | — | 108,972 |
| 長期預り敷金保証金の返還による支出 | △49,031 | △49,031 |
| その他 | △7,082 | 17,356 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,110,964 | △437,614 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 353,834 | 248,712 |
| 長期借入れによる収入 | 1,253,300 | 600,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △376,796 | △1,146,188 |
| 自己株式の取得による支出 | △312,563 | △25 |
| 自己株式の売却による収入 | 41,052 | 2,518 |
| 配当金の支払額 | △132,783 | △129,417 |
| その他 | △16,168 | △15,446 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 809,875 | △439,846 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △22,234 | △49,414 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 234,630 | 381,464 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,890,461 | 3,499,796 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,125,092 | 3,881,260 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

米国会計基準を適用していない在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債を計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内外の景気の急速な悪化により、当社グループでは受注の減少などの影響を受けております。このような状況は、当連結会計年度の業績に一時的に影響を及ぼすものの、当連結会計年度末に向けて感染拡大収束と経済活動の再開に伴い徐々に回復すると仮定しており、当該仮定を固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りに反映しております。

なお、この仮定は不確実性が高く、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------------------------|-----------------------|----------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 産業用機能 フィルター・ コンベア事業 | 電子部材・ フォトマスク 事業 | 環境・水処理 関連事業 | 不動産賃貸 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,044,478 | 2,061,800 | 931,473 | 526,840 | 12,564,593 | — | 12,564,593 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 629 | 2,898 | 66 | — | 3,594 | △3,594 | — |
| 計 | 9,045,108 | 2,064,698 | 931,539 | 526,840 | 12,568,187 | △3,594 | 12,564,593 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 757,549 | △56,789 | 40,960 | 396,300 | 1,138,019 | △687,044 | 450,975 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△687,044千円は、内部取引にかかわる調整額△210千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△686,834千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子部材・フォトマスク事業」セグメントにおいて、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては38,518千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------------------------|-----------------------|----------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 産業用機能 フィルター・ コンベア事業 | 電子部材・ フォトマスク 事業 | 環境・水処理 関連事業 | 不動産賃貸 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,943,759 | 1,742,409 | 708,185 | 527,163 | 10,921,517 | — | 10,921,517 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 153 | 1,040 | 125 | — | 1,318 | △1,318 | — |
| 計 | 7,943,912 | 1,743,449 | 708,310 | 527,163 | 10,922,835 | △1,318 | 10,921,517 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 456,118 | △7,799 | △58,313 | 400,867 | 790,874 | △640,940 | 149,933 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△640,940千円は、内部取引にかかわる調整額10千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△640,951千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子部材・フォトマスク事業」セグメントにおいて、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては32,144千円であります。